



キク編

病害虫注意報 2021年11月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病の発生に注意しましょう！

閉めきったハウス内は湿度が高くなり、白さび病発生の原因となります。
また、ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類等、各種害虫の発生にも注意が必要です！

<白さび病対策>

原因

夜間の高湿度
特に、暖かい雨の日には注意が必要！
湿度95%以上の環境が続くと
白さび病発生の危険性が高まります。

対策

- ・暖房機、循環扇を稼働する。
- ・予防的に薬剤散布する。



今月のおすすめローテーション

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。 ※花き類・観葉植物登録

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500~800倍	-	8回
	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類 等	ハチハチ乳剤	1,000倍	発病・ 発生初期	4回
発蕾時	白さび病 アブラムシ類 等	予 ピリカット乳剤	1,000倍	発病・ 発生初期	6回
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル※	1,000倍	発生初期	2回
破蕾時	白さび病	予・治 ポリオキシAL水溶剤	2,500倍	発病初期	8回
	アザミウマ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	2,000倍	発生初期	3回

対象病害虫によって使用倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

弱った株の回復に！

カテキンパワー

1,000倍 葉面散布

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤(ファイトカルを除く)、微量元素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避ける。



肥料登録
生第91402号

白酢

POINT

- ◆発根を促進し、根張りが向上
- ◆固定されたリン酸の吸収を促進
- ◆一時的なpHの抑制

発根を促進！
根張り向上！



灌注時：100~300倍
散布時：300~1,000倍

※強酸性のため100倍以下にならないように注意